

報告事項ケ

令和2年度 第1回 鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議（兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県地域学校協働活動推進委員会）の概要について

令和2年度 第1回 鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議（兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県地域学校協働活動推進委員会）の概要について、別紙のとおり報告します。

令和2年12月24日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志



令和2年度第1回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議
(兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県
地域学校協働活動推進委員会)の概要について

令和2年12月24日
社会教育課

- 1 日 時 令和2年11月17日(火)午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)5階 講義室
- 3 会議の概要

会長の選任、副会長の指名

- ◆会 長：公立鳥取環境大学の川口委員が選任された。
- ◆副会長：特定非営利活動法人ハーモニカレッジ大堀委員が指名された。

研修 今後の社会教育の方向性について

- ◆新たなメンバーとなって第1回目の会議開催のため、今後の社会教育の方向性について研修を行うこととし、中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」(平成30年12月)及び「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」(令和2年9月)について、事務局より説明を行った。

議事 令和3年度社会教育関係団体への補助金について

- ◆社会教育法第13条に基づき社会教育関係団体への県からの補助について審議いただいた。
当該補助金は3か年ごとに見直しを行っており、令和3年度通常分の補助金上限額は、平成28年度から平成30年度までの補助対象経費の平均額としている。
令和3年度は臨時分の交付はなく、通常分のみ交付ということで了承された。

(主な意見)

- ・それぞれの団体に対する補助金額について意見はないが、それぞれの団体の活動内容を次回報告いただきたい。



意見交換 体験活動の推進について

- ◆独立行法人国立青少年教育振興機構からの受託事業「地域ぐるみで体験の風をおこそう」運動推進事業の令和2年度実施状況と令和3年度事業の案について事務局から説明し、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・参加希望がたくさんあった場合は人数を絞らなくてはならないと思うが、予算的、日程的に可能であれば、回数を増やす等、なるべく多くの方が体験活動に参加いただけるようお願いしたい。

意見交換 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について

- ◆コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の県内導入状況やコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に向けた方策について説明し、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・令和5年度までにすべての公立学校にコミュニティ・スクールを導入するためには、コミュニティ・スクールにすると何が良くなるかということの説明する努力がいると思う。
- ・管理職になる方々に、社会教育課からだけでなく、働きかけをしていかなければならない。
- ・県で研究指定校のような取組を実施すれば、学校教育側も一体的な推進に意識が向くのではないかと。

氏名	所属・職名等	備考
上 杉 未 樹	鳥取県連合青年団事務局次長	(欠席)
大 堀 貴 士	特定非営利活動法人ハーモニカレッジ理事長	副会長
青 山 恵 子	日本海テレビジョン放送株式会社営業局局次長兼事業部長	
小 椋 博 幸	倉吉市教育委員会教育長	
川 口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	会長
清 水 まさ志	鳥取大学地域価値創造研究教育機構准教授	
田 中 昭 子	鳥取県連合婦人会	
大 西 映 子	湯梨浜町立はわいこども園長	(欠席)
矢 田 佳 代	倉吉市立関金小学校長	(欠席)
高 尾 裕 子	鳥取県PTA協議会中部ブロック代表理事	
福 田 京 子	日本ボーイスカウト鳥取連盟理事	(欠席)
砂 流 誠 吾	日野町教育委員会教育課長	
山 根 一 記	鳥取市賀露地区公民館館長	
米 田 述 史	公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会理事	(欠席)